

サービス評価結果報告書

中津市福祉部介護長寿課 あて

提出日:令和 7年 3月 6日

サービス種別 (該当に○)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
	小規模多機能型居宅介護		介護予防小規模多機能型居宅介護
	○ 看護小規模多機能型居宅介護		
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護		
事業所番号	4490300334		
事業所名	看多機かえりえ中津		
法人名 代表者名	株式会社 やさしい手 香取 幹		
事業所所在地	(〒871-0011) 大分県中津市大字下池永 826 番地		
担当者名	古江 佳織		
連絡先	電話	050-1753-9365	mail caerie- nakatsu@yasashiite.com
	FAX	050-3535-9225	

以下のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議等での評価 実施日	令和 7年 2月 20日
-----------------	--------------

「※要提出」の書類を添付します。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙1) 自己評価・外部評価 評価表…………… 公表

小規模多機能型居宅介護(介護予防含む)	
	・(別紙2-1) スタッフ個別評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-2) 事業所自己評価…………… 公表
	・(別紙2-3) 地域からの評価…………… 事業所にて保管
<input type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙2-4) サービス評価総括表…………… 公表

看護小規模多機能型居宅介護	
	・(別紙3-1) 従業者等自己評価…………… 事業所にて保管
	・(別紙3-2) 事業所自己評価…………… 事業所にて保管
<input checked="" type="checkbox"/> ※要提出	・(別紙3-3) 運営推進会議における評価…………… 公表

(介護予防)認知症対応型共同生活介護

✓□ ※要提出 ・(別紙2-2) 自己評価・外部評価・運営推
進会議活用ツール 公表

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社 やさしい手	事業所名	看多機かえりえ中津
所在地	(〒871-0011) 大分県中津市大字下池永 826 番地		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

地域のクリニックや病院と連携し、医療依存度の高い方やターミナル期における方の受け入れを行っています。
 ご利用者様の主治医と看多機の看護師が連携を図りながら、対応していきますので、医療面においても安心して在宅生活を継続することができます。
 在宅生活の継続ができるよう、看護職・介護職・計画作成担当と連動することで、日々柔軟にサービス設定をします。ご利用者様にそれぞれに応じたサービスの提供が行えます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	2025 年 2 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(6) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	2025 年 2 月 20 日	出席人数 (合計)	(4) 人	※自事業所職員を含む
-----	-----------------	-----------	---------	------------

出席者（内訳）	<input type="checkbox"/> 自事業所職員（ 2 人） <input type="checkbox"/> 市町村職員（ 0 人） <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（ 1 人） <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者（ 1 人）
	<input type="checkbox"/> 利用者（ ____人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（ ____人） <input type="checkbox"/> 知見を有する者（ ____人） <input type="checkbox"/> その他（ ____人）

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)			
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)		
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)		
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)		
III. 結果評価 (評価項目 42～44)			

--	--	--	--

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	利用者様・ご家族様の想いの実現に向けたサービスを提供していくことを理念とし、看護職・介護職・計画作成担当と連携を取り、医療依存度の高い方やターミナル期における方でも在宅生活が継続できるよう支援している。 利用者様に関しては、社内システムを活用し、スタッフ間での情報共有を行い、定期レビューを行っている。 医療安全や感染、災害対策については会社のシステムを活用し、社内で情報が共有できるようになっている。	利用者様に関しては、日々スタッフ間での情報共有を行い、毎月定期レビューを行っている。利用者様・ご家族様の想いを汲んだサービスが提供できるよう支援を行っている。 社内のシステムを活用し、医療安全や感染、災害対策について事業所全体で統一した対応ができるよう情報の共有を行っている。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	計画作成者、看護師、介護職との意見交換の場を作る。(定期レビューの開催) 利用者様の状態変化時やご家族様のご意向など状況に応じて適宜プラン変更し、サービスの提供を行っている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	利用開始前のアセスメント・退院前カンファレンスへの参加で密に情報交換し、円滑に移行できるよう連携を図っている。 運営推進会議には、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員の方へ参加していただき、看多機の情報提供を行い、アドバイスや提案をしていただいている

	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32~41)	地域の中で幅広く看多機について知っていただき、利用していただけるよう、紹介チラシの配布、ご挨拶、イベントの開催で地域住民の方への啓発活動を行っている。	医療機関や居宅支援事業所などに看多機紹介チラシの配布やご挨拶に回り、周知していただく。 イベントの開催を行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		定期レビュー・アセスメントを行い、定期的な計画・目標設定をしている。ケアマネ・介護・看護の連携でトータル的なフォローがあり、安心して在宅生活を過ごすことができる。病院との連携を図り、看護師による医療面のフォローができるため、医療依存度が高い方も安心して生活を継続することができる。	計画作成者・介護・看護でそれぞれの専門性を活かし、情報共有・意見交換を行い、利用者様やご家族が望む生活を継続していけるよう援助していく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「① 医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、 「② 在宅での看取りの支援」、		○			特に意見なし	✓ ①~⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①~⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそ
		[具体的な状況・取組内容] 看護職・介護職・計画作成担当と連携を					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	「③生活機能の維持回復」、 「④家族の負担軽減」、「⑤ 地域包括ケアへの貢献」を 含む、独自の理念等を掲げ ている						できている」もしくは「あまりで きていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されてい ない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業 所の理念等について、職員 がその内容を理解し、実践 している		○			特に意見なし	✓ 「サービスの特徴および理念等 を踏まえた実践」の充足度を評価 します ✓ 独自の理念等が明確化されてい ない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 個々のサービスについてスタッフ間で定 期的に話し合ことで職員が理念に基づい たサービスを考えることができる。					
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る		○			特に意見なし	✓ 「育成計画の作成」の状況につい て、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画 などを作成している場合は「よく できている」 ✓ 育成計画などを作成していない 場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] 職員は目標達成評価表を使用し、目標達 成に向け取り組んでいる					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			特に意見なし	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 毎月の社内研修（E ランニング）に参加できている。社外の研修については、勤務調整し、研修が受けられるよう時間を確保している。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				常に介護職・看護職・介護支援専門員で連携が図れているので、それぞれの専門性を生かした話し合いができるのはよい。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 毎日の朝礼時・夕礼時に、介護職・看護職・介護支援専門員間で利用者様についての情報共有を行っている。 毎月定期レビューの開催を行っている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		○			特に意見なし	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 を評価します
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 得られた要望や助言についてはスタッフ 間で共有している。ご意見は、改善策へ 反映し、看多機の利用方法について周知 していただくよう活動を行っている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている		○			特に意見なし	✓ 「職員が、安心して働くことので ける就業環境」の充足度を評価し ます ✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的な研修やスタッフへの面談を行 い、意見や状況を確認している。 個々の労働日数や労働時間が労働規則と 契約に基づいているか確認しながら、偏 りがないようシフト作成・スケジュール 作成を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				特に意見なし	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 口頭の申し送りだけではなく、看護・介護共有の記録システムを活用し、全スタッフが更新された情報を毎日確認するようにしている。					
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			改善策をスタッフ間で共有し、再発防止に取り組まれている。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 医療安全委員会の設置、毎月開催、ヒヤリハットや事故発生時は、個々でインシデントシステムへの入力を行っている。スタッフ間でフィードバックを行い、具体的な改善策を講じている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
<p>II サービス提供等の評価</p> <p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</p> <p>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</p> <p>① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</p>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセ		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護
		[具体的な状況・取組内容]					
		計画作成者は定期的にご自宅訪問・アセ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	アセスメントが行われている						小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			本人様だけでなく、ご家族様の意向に沿ったサービスが組まれている	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			特に意見なし	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 個々の状態に応じて、定期レビューを行い、支援内容を計画書に反映させている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			特に意見なし	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 訪問サービス時や通い時に、ご家族様にも声を掛けるようにしている。介護疲れの有無や訴えを傾聴し、ケアマネと相談しながら宿泊や通い、訪問の調整等を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			特に意見なし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 事業所内では定期カンファレンスを行い情報共有している。状態変化に伴い、利用者様について得た情報は、他サービス事業所へも情報提供を行い共有している。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている		○			スタッフ間での情報提供、役割分担ができています。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] 申し送り時、介護職と看護職からそれぞれ意見をもらっている。全員で検討し、改善策を検討している。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情		○			特に意見なし	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 足度を評価します
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 朝礼・夕礼・定期レビューを通して、利用者様の情報共有と対応策を検討している。内容は経過記録に残し、すべてのスタッフが共有できるようにしている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 毎日の申し送り時や定期レビューで看護師より医療面について介護職へ情報提供や提案を行っている。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく		○			特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 見学時や契約時、サービス変更時などご利用者様・ご家族様に説明を行い、了承を得ている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ケアマネ・看護・介護がそれぞれ作成した計画書を用いて、説明し、了承を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 通いや訪問時、ご家族様に直接看護師が指導を行い、手技の習得ができるよう努めている。必要時マニュアルを作成し、説明を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			特に意見なし	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ご利用者様の状態変化に応じて、ご家族様に相談を行い、意向を確認しながらサービスの調整を行っている。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			特に意見なし	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 状態変化時は、ご家族様に情報提供を行い、現在のサービスについて相談。必要時、サービス変更の相談をさせていただいている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計ら		○			特に意見なし	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	って、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 小まめな情報提供を行っている。ターミナル期の関わりについて、ご家族様へ看護師より説明書を用いて、説明。同意を得ている。					点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	○				病院との連携、退院後の方の受け入れがスムーズにできている。 ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます	
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主	○				特に意見なし ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	治医等と相談・共有する ことができている	[具体的な状況・取組内容] 利用開始前に、緊急時の対応について主治医に確認する。指示内容は指示書に記載していただき、スタッフ間で共有する。					✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			特に意見なし	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] かかりつけ医の緊急対応が厳しい時には、事前に主治医と相談し、市の救急体制に沿って、対応するようにしている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考え	○				特に意見なし	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	られる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 運営推進会議には、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員の方へ参加していただき、看多機の情報提供を行い、アドバイスや提案をいただいている					一マルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている			○		特に意見なし	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 記録の共有や会社のホームページに掲載するようにしている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的		○			特に意見なし	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 看多機についての紹介チラシの配布、ご					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	な啓発活動が行われている	挨拶、イベントの開催で地域住民の方への啓発活動を行っている。					が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ でき て い る	あまり で き て い な い	全 く で き て い な い		
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れるこ	○				特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	とができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> これまでも緩和ケアにある方、看取りの方を積極的に受け入れ、対応してきている。訪問診療や主治医と連携を図り、体制を整えている。					✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○			特に意見なし	✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている			○		特に意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			特に意見なし	<p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご家族様の自由な面会が可能であるため、面会時には、ご利用者様と共に情報共有ができ、必要な助言や指導を行うようにしている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期レビュー・アセスメントを行い、定期的な計画・目標設定をしている。達成度に応じたサービス提供を行っている。	特に意見なし	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない	特に意見なし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」に

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	得られている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ご家族様へ看護師からの直接的な情報提供・助言を行い、病院との連携を図りながら、医療面でのフォローを行っている。		ついて、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている ③ 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④ 利用者の1/3には満たない ⑤ 看取りの希望者はいない <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 看多機の利点である、自由な面会ができ、ケアマネ・介護・看護の連携でトータル的なフォローがあり、安心して最期の時間を過ごすことができたご家族様からの声あり。	特に意見なし	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」